

第 35 回「発展途上国研究奨励賞」 (2014 年度)

表彰作品

『反市民の政治学--フィリピンの民主主義と道徳』

(法政大学出版局)

著者 日下 渉

名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

本書は、著者が 2007 年から 2008 年にかけてフィリピン大学に留学し、スラムで暮らした際の体験と思索にもとづき、大衆（貧者）と市民（中上流層）の道徳的対立を鍵概念として、格差社会における民主主義と市民社会の課題と可能性を真摯に検討した作品である。貧富の差が拡大し、選挙のたびに票の売買が取りざたされるこの国に、「正しい」民主主義は根付かないのか。現場のリアリティにもとづく分析と議論展開は説得力があり、民主主義をめぐる途上国の政治過程のダイナミズムの研究として高く評価できる。

『ガーロコイレーニジェール西部農村社会をめぐるモラルと叛乱の民族誌』

(平凡社)

著者 佐久間 寛

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教

本書は現代アフリカ研究の基本的な諸問題、とくに国家・社会関係をめぐり、人類学の手法に立ち、正面から取り組んだ力作である。2004 年から 2007 年の現地調査を元に、ニジェール西部の農村社会の土地をめぐる村落の分裂をきわめて詳細に描き出し、住民のモラルに着目した言説分析は説得的である。

植民地行政の言説、先行研究である人類学者の考察の批判的な再検討にとどまらず、現代アフリカ政治研究の対象課題も研究の文脈に組み込まれ読みごたえのある作品である。

推薦著作 34 点 (うち自薦 5 点、英語 1 点) ※2013 年度は総数 37 点
単行書 34 点 論文 0 点

委員長	長澤 栄治	東京大学東洋文化研究所教授
委員	杉村 和彦	福井県立大学学術教養センター教授
	中西 徹	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授
	広瀬 崇子	専修大学法学部教授
	牧野 文夫	法政大学経済学部教授 (以上 五十音順)
	白石 隆	アジア経済研究所長

表彰式および受賞記念講演 2014年7月1日(火) 14:00 ~ 15:30 (予定)
場 所：日本貿易振興機構 (ジェトロ) 本部 5AB 会議室